

# 算数科 小学校 5年

単元名「割合」  
啓林館「わくわく算数5下」

## 単元の流れ（全13時間）

詳細は  
こちら

CLICK

### 第1次【第1時～第4時】

#### 主な学習内容

割合の意味と割合の問題（割合・もとの量・比べる量）の求め方を知り、問題解決をする。

もとの量・割合・比べる量を見つけ、「帯図」を書いて問題を解く。

### 第2次【第5時～第8時】

#### 主な学習内容

百分率の意味を理解し、百分率を使った問題について考える。

### 【第2次】【第6時】（本時）

#### 主な学習内容

百分率を使って割合の3用法の問題を解く

#### 学習目標（評価規準）

割合で考えることのよさを知り、百分率などを用いて問題を解く。【表現・処理】

### 第3次【第9時～第10時】

#### 主な学習内容

帯グラフと円グラフの意味を理解し、部分と全体を考えながらグラフを書く。

### 第4次【第11時～第13時】

#### 主な学習内容

関係図や線分図を用いて、もとの量の何倍にあたるかを考えて問題を解く。

### 単元目標

割合で考えることのよさを知り、百分率などを用いて問題を解く。

### 単元構成の意図

本単元の「割合」は、2つの数量があるとき、一方が他方の何倍になっているかという関係を表す数であり、日常よく使われている。

ここでは、割合を身近な問題として捉えることを大切にし、「帯図」などを使って問題を視覚的に整理し、問題解決への手助けとしたい。

単元後半では、割合の意味を理解させた後に、割合の表し方の一方法としての百分率と歩合について学習する。

### 活用の力を育てる ポイント

- ① 算数的活動の充実
  - ・「帯図」を活用することで、問題解決への見通しを持ち、割合を視覚的にとらえるようにする。
- ② 算数科における言語活動の充実
  - ・「思考の流れに沿った学習過程」を意識して児童の思考・表現が豊かになるようにする。
- ③ 実生活や他教科の学習での活用
  - ・割合を使った買い物場面の作問や他教科でのグラフの活用等の時間を充実させ、算数で学んだことが生かせることを実感させる。

本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題

HOME

